

中国木材産業・貿易の発展に影響する政治・経済・社会的要因

平野悠一郎

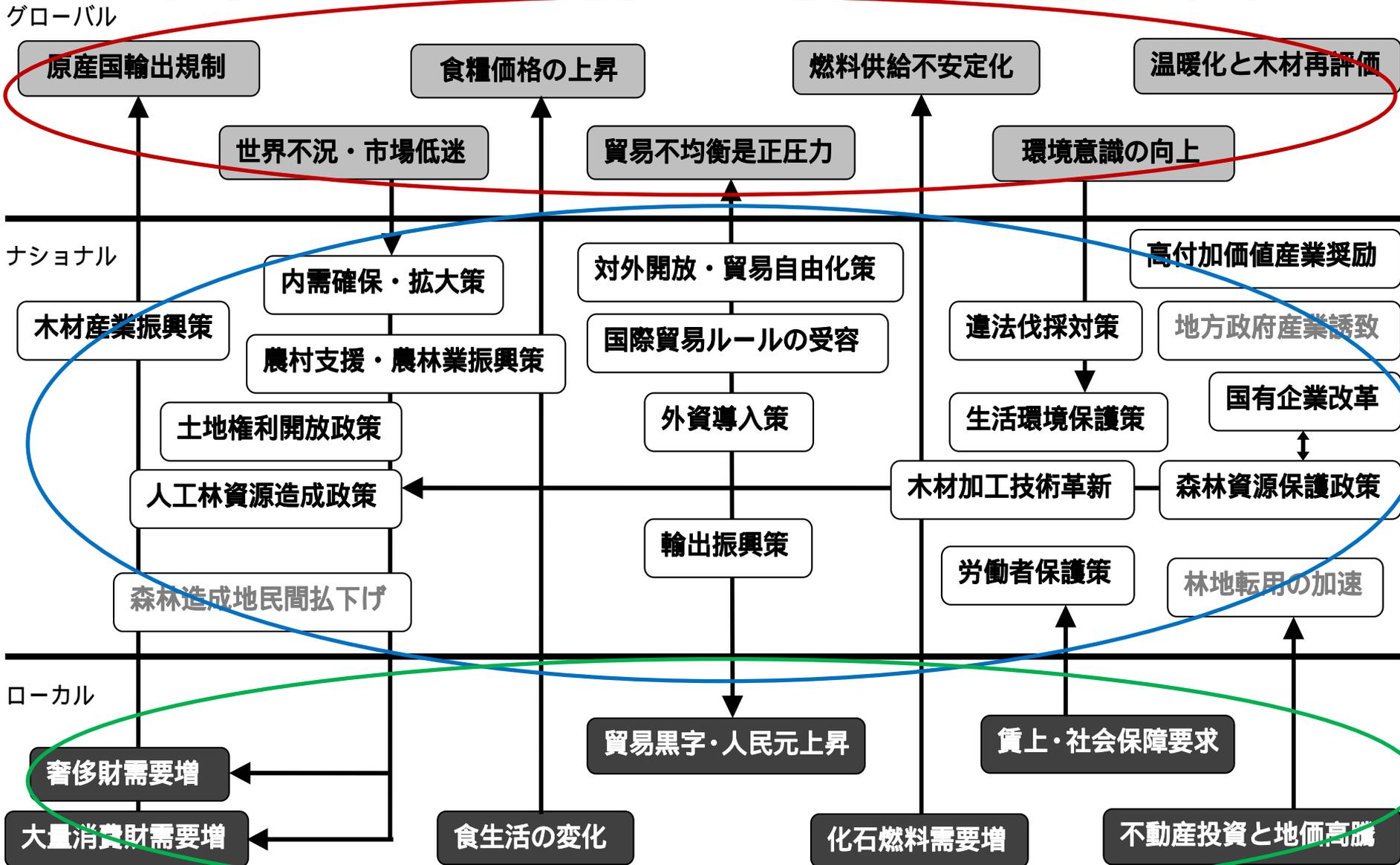
森林総合研究所

2010年12月1日(大連香洲飯店)

本報告の問題意識・内容

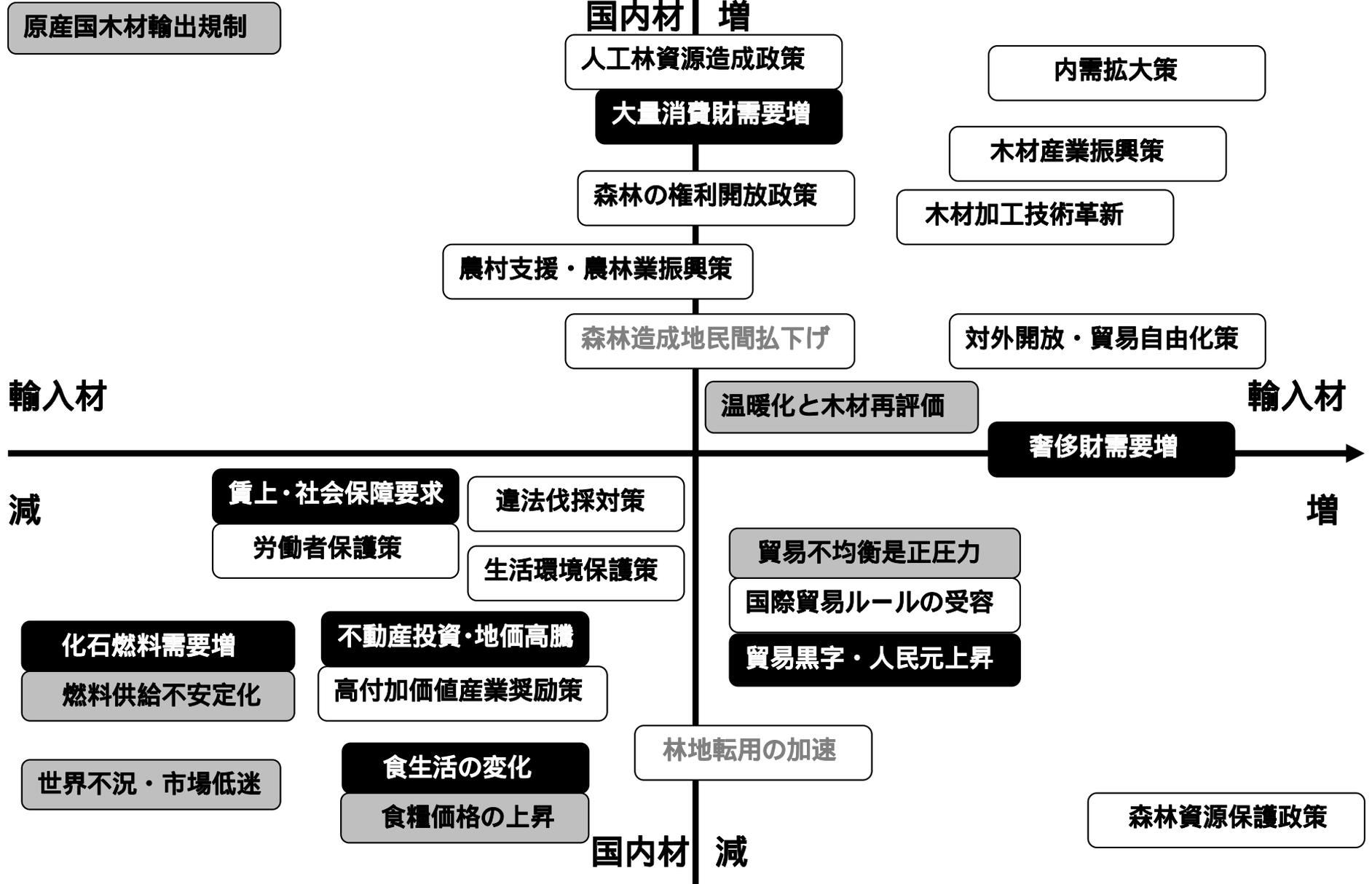
- 1990年代後半以降の中国における木材産業・貿易の発展を規定してきたグローバル・ナショナル・ローカルな要因を導出し、その影響を理解する。
- 調査方法：各地での政府・企業関係者、住民へのインタビュー調査、関連文献調査(2008～2010年)。
- まず各種の要因を整理し、それが木材産業における
原料調達
加工地の形成
製品流通
に与えた影響を、それぞれ整理・考察する。

木材産業・貿易を規定する各要因



注： ← は促進、 ↔ は相互関係をそれぞれ表す。ナショナル領域の薄字は、主に地方政府のアクション・対応を示している。

原料調達に与えた影響の整理



国内材供給の限界と克服への努力

- 稀少な国内の森林資源を保護し、多面的機能の維持・回復を図るという政策的潮流が存在。
 - 1: 天然林資源保護工程の実施(1998年～): 既成の森林地帯(東北・西南地区等)での伐採規制。

国内材供給の大幅減、輸入材の積極的導入。
 - 2: 大規模な森林造成: 国内材供給の限界の克服。

新たな国内材供給基地の形成と供給増。

土地権利開放による森林経営民営化、農業特産税廃止をはじめとした農村・農林業支援策、及び地方政府による荒廃地の民間払い下げ等によって促される。

世界の木質原料が中国に集まる理由

- 国内での木材消費を促す各種の政策措置の存在。

1: 対外開放・貿易自由化政策

木材貿易でも規制緩和と民間企業の参入が進み、以後の輸入材増加の基盤を整備。

増値税還付や企業所得税減免を通じた木材産業振興策や、高度な木材加工技術の導入や早生樹人工林材の木質ボード利用技術の革新によっても、木材産業の発展が促され、輸入材・国内材を問わず原料需要が増加。

2: 多層的な製品需要増を促す内需拡大

富裕層・中間層による奢侈財の需要増、農村生活や都市・インフラ建設に際しての膨大な大量消費財需要が引き続き発生。

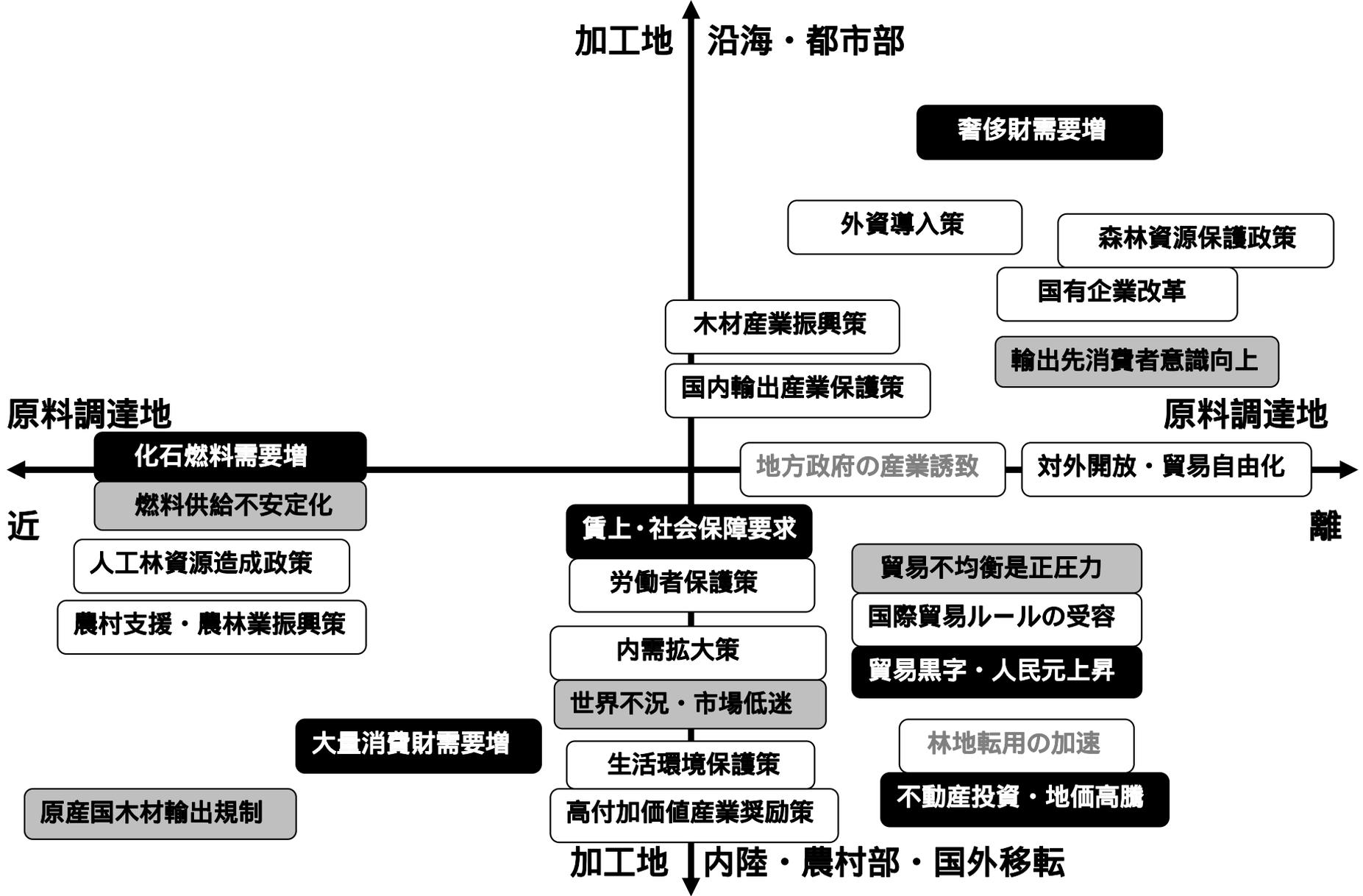
オリンピックや世界金融危機に際しての内需拡大策がこれを維持・促進。

= 木材関連での「世界の工場・市場」としての地位の確立。

原料利用を減退させる内外の要因

- 天然林資源保護工程：国内材の供給減、輸入材の導入促進。
- ロシア丸太輸出規制(2006年～)：当地からの輸入材減少。
- 世界金融危機：輸出市場の低迷に伴う生産・輸出量の減少。
- 世界的な燃料供給不安定化：輸送費上昇等の形で、木材産業における原料調達を制約。
- 世界的な食糧価格上昇、都市化・工業化を目指した林地転用：国内の人工林資源造成に向けての用地確保を困難に。
- 「世界の工場」としての地位が揺らぐ諸要因
 - 1：格差是正要求に伴う労働者保護策の実施。
 - 2：不動産投資による地価の上昇。
 - 3：生活環境保護政策。
 - 4：高付加価値産業誘致・木材産業移転の方針。
 - 5：高まる国際的な貿易不均衡是正圧力と人民元の上昇。
- 違法伐採対策：輸入材・国内材双方の供給体系見直し。

加工地形成に与えた影響の整理



沿海・都市部での産業形成

- 近年に至るまで、中国の木材加工業は沿海部の都市周辺に集中して立地する傾向。
メリット：製品市場に近く、流通システムも発達し、部材調達や技術・情報伝達が容易。
デメリット：原料調達地から相対的に乖離。
- 対外開放・貿易自由化、外資導入による輸出指向型工業化の方針が基本路線。
- 地方政府が積極的に産業誘致。
- 消費者意識の向上と違法伐採対策も、沿海・都市部の企業の原料調達を遠隔化させる原因に。

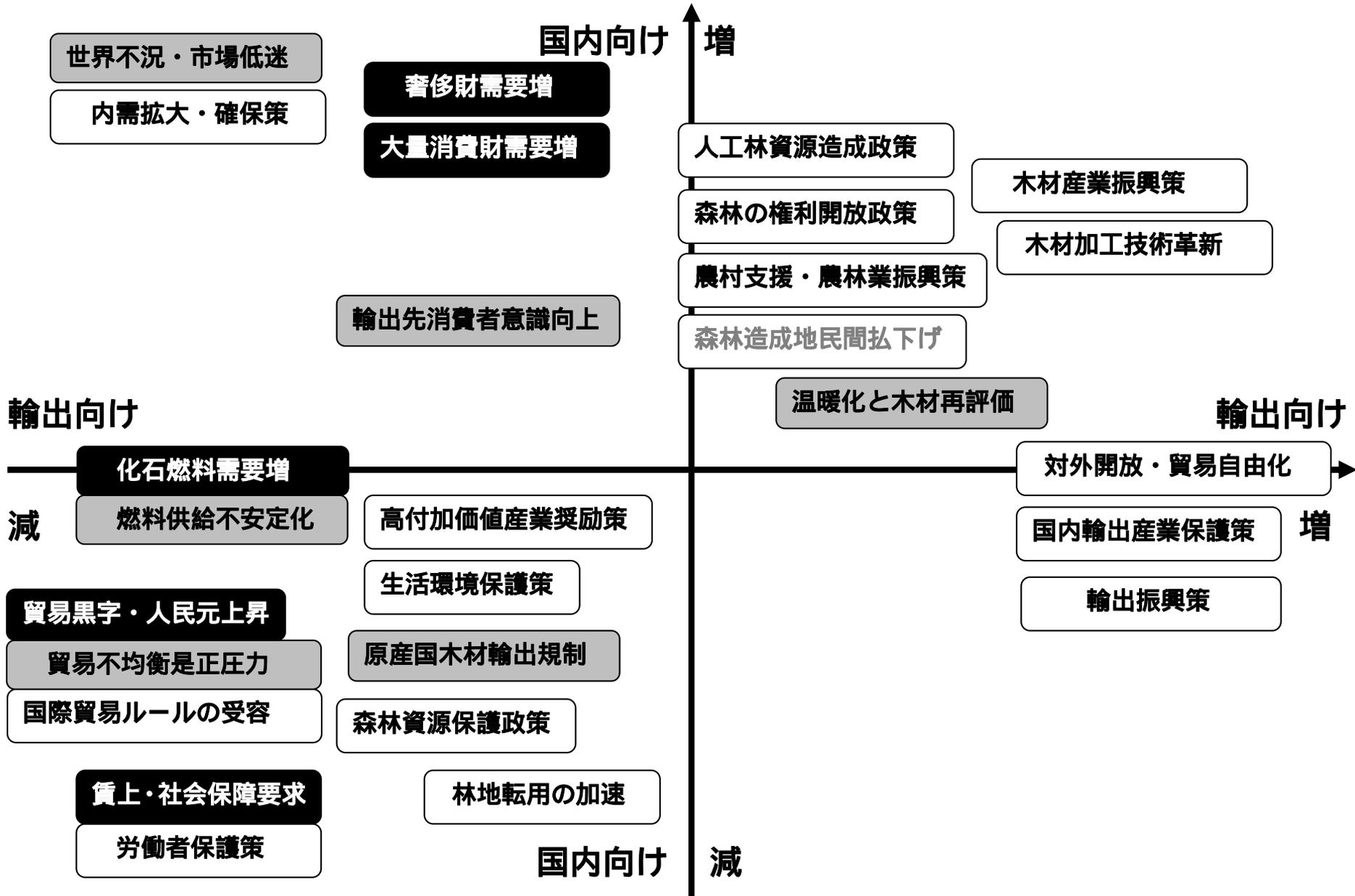
内陸・農村部及び国外への産業移転 を促す諸要因

- = 最近、この沿海・都市部での産業形成・集積という構図に変化が見られつつある。
- 内陸・農村部での需要増。
 - 1: 沿海・都市 内陸・農村の格差解消を目的とした西部大開発等のプロジェクト実施。
 - 2: 世界金融危機以降の全体的な内需底上げを通じた内需拡大・消費刺激策。
- 沿海・都市部での経営コストの上昇。
 - 1: 賃上げや社会保障の整備に伴う労働コストの上昇。
 - 2: 土地競合の激化と不動産投資の加速 = 地価の高騰。
 - 3: 生活環境保護政策、
 - 4: IT等の高付加価値産業の重視と木材産業への優遇措置の廃止。
 - 5: 人民元の上昇。

原料供給地と加工地の近接化

- また最近、原料調達地と加工地を結合・近接化させ、内陸・農村部を含めた地方経済の活性化や、企業のコスト削減を図るという政策方針も目立つ。
- 主な背景
 - 1: 世界的な燃料供給不安定化に伴う原料調達・輸送コストの上昇。
 - 2: 人工林資源造成政策や農林業振興策等を通じた、近年における国内材生産地の広がり。
 - 3: 原産国の木材輸出規制。
 - 4: 格差解消や内需拡大策を通じた内陸部での木材需要の底上げ。
- = 今後、これが加工地の分散化と、各地における資源循環利用を形成する潮流に結びつく？

製品流通に与えた影響の整理



世界不況・市場低迷

内需拡大・確保策

奢侈財需要増

大量消費財需要増

国内向け 増

人工林資源造成政策

森林の権利開放政策

農村支援・農林業振興策

森林造成地民間払下げ

木材産業振興策

木材加工技術革新

輸出先消費者意識向上

温暖化と木材再評価

輸出向け 増

輸出向け 減

化石燃料需要増

燃料供給不安定化

高付加価値産業奨励策

生活環境保護策

原産国木材輸出規制

森林資源保護政策

貿易黒字・人民元上昇

貿易不均衡是正圧力

国際貿易ルールを受容

賃上・社会保障要求

労働者保護策

林地転用の加速

国内向け 減

対外開放・貿易自由化

国内輸出産業保護策

輸出振興策

増

輸出主導から内需を見据えた製品生産

- 対外開放・貿易自由化、輸出産業育成による経済発展路線は、外資導入・規制緩和や税率調整等を通じて、安価な労働力を生かした製品輸出の促進を目指してきた。
- 経済発展に伴い増え続ける国内需要も踏まえて、国内の人工林資源造成を促す措置が取られ、また木材産業振興策や加工技術の革新が、輸出・国内向けの製品供給力の向上を全体的に後押し。
- しかし最近に入って、貿易黒字の拡大と人民元の上昇、さらには労働者の賃金上昇を受け、こうした輸出主導の発展モデルは継続が困難に。
- 対して、中国の国内市場は、経済発展や内需拡大策を背景に、沿海・内陸部を含めて全域的に拡大する傾向。
- 2008年下半期からの世界金融危機による輸出市場の低迷をさらなる契機として、中国の木材産業は、輸出のみならず内需を見据えた製品生産・流通へとシフト。

製品生産・流通を制約する要因

- 一方、近年の中国においては、国内の木材産業による製品生産・流通を困難にする各種の要因も見られる。
- 原料の供給不安定化という面から、各企業の生産活動の制約してきた要因。
 - 1: 天然林資源保護工程等の国内森林保護政策
 - 2: 原産国の木材輸出規制措置
 - 3: 都市化や農地競合に伴う林地転用の加速
- 経営コスト上昇という面から、木材産業における製品生産・流通を困難にしてきた要因。
 - 1: 労賃の上昇(労働者保護策)
 - 2: 工場運営への環境保護規制
 - 3: 高付加価値の他業種優遇措置
 - 4: 化石燃料の価格高騰
 - 5: 人民元上昇を促す国際的な圧力

まとめ

- グローバル、ナショナル、ローカルの様々な要因が相互に関連しながら複雑な影響を及ぼしている。
 - 原料調達面：稀少な天然林資源が保護され、輸入材の調達も不安定化する中で、いかに国内の人工林資源の造成と確保が進められるか。
 - 加工地の形成発展面：沿海・都市部を中心とした木材産業におけるコストの目立った上昇が見られ、内陸・農村部、国外へと産地が分散化する傾向。
 - 製品流通面：現在、順調な成長を続けている国内市場への重点シフト。
- = 今後、貿易不均衡の是正と人民元の切り上げも踏まえて、中国の木材産業は、所得増加に伴う購買力上昇や内陸部発展を背景とした、多層的な内需に支えられていく傾向にある。
- = 丸太・製材品に加えて、製品の対中輸出にも期待が持てる。また、高所得層の増加は、高級品や品質・安全性が担保された製品の需要増に繋がり、国外の先進的な木造建築工法や、木質ボード接着技術、ブランド化・高付加価値製品生産のノウハウに対しても、中国からの注目が集まる。

ご清聴ありがとうございました